# 第７講
# ネーデルラントの独立・テューダー朝とステュアート朝

〔１〕**絶対王政の構造**（主権国家体制）

政治構造…**官僚制度と常備軍**

**王権神授説**

理論家…ジェームズ１世・フィルマー（英）・ボーダン・ボシュエ（仏）

**重商主義政策**

重金主義　→　貿易差額主義　→　産業保護主義（仏コルベール主義）

**問屋制**　→　**マニュファクチュア**（工場制手工業）

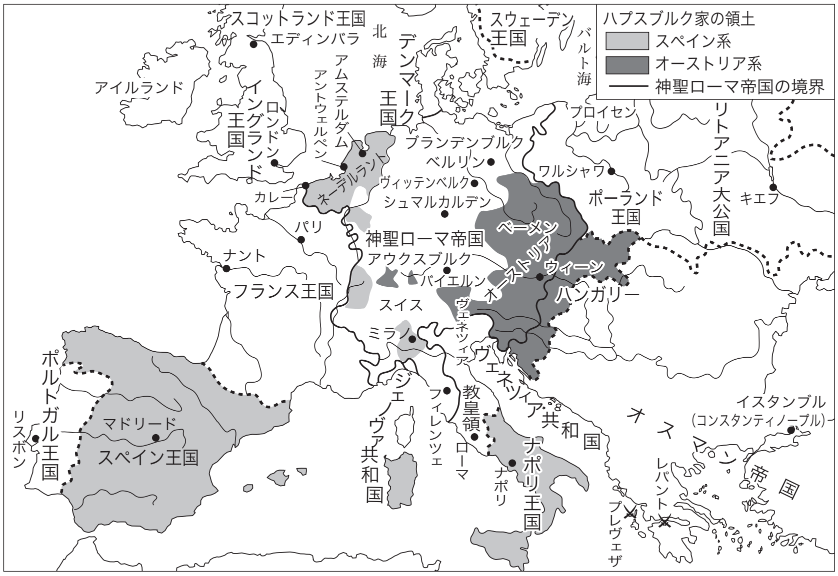
〔２〕**スペイン**

スペイン王国成立（1479）

←　**イサベル**と**フェルナンド**の結婚（1469）

・レコンキスタの完了（1492）…イスラーム勢力を追放（グラナダ陥落）

**スペイン＝ハプスブルク朝**〔1516 ～ 1700〕




①**カルロス１世**

（位1516 ～ 56）…**ハプスブルク家**

・神聖ローマ皇帝を兼任（カール５世．位1519 ～ 56）

・**コルテス**・**ピサロ**ら**コンキスタドール**，新大陸へ

・**プレヴェザの海戦**（1538）　VS　オスマン帝国，敗北

②**フェリペ２世**（位1556 ～ 98）

・フィリピン領有　→　マニラ市建設（1571）

・**レパントの海戦**（1571）　VS　オスマン帝国，勝利

・**ポルトガルの併合**（1580）　**“太陽の沈まぬ帝国”**

アルマダ戦争（1588）…**無敵艦隊（アルマダ）**が英艦隊に敗北

〔３〕**オランダ**

**ネーデルラント**

**北部７州**（オランダ）…ゲルマン系民族．中継貿易中心．**ゴイセン**（カルヴァン派）

**南部10州**（ベルギー）…ラテン系民族．毛織物工業中心．**カトリック**



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

**フェリペ２世**…重税・新教徒の圧迫

**オランダ独立戦争**（1568 ～ 1609）

南部10州…独立運動から脱落

北部７州…**ユトレヒト同盟**（1579）を結成

**独立宣言**（1581）…**ネーデルラント連邦共和国**

**オラニエ公ウィレム**（世襲の**オランダ総督**）

スペイン…**無敵艦隊**の敗北・フェリペ２世の死　→

**休戦条約**（1609）

繁栄…首都**アムステルダム**の繁栄…世界商業・金融の中心（17C前半）

・**東インド会社**設立　香料貿易を独占

衰退

・連邦制度の採用　→　中央集権の不徹底

・**航海法**（1651．英）…**英蘭戦争**（1652 ～ 74）での敗北

**〔４〕イギリス**

**Ａ.テューダー朝**〔1485 ～ 1603〕

①**ヘンリ７世　バラ戦争**終結（1485）

・**星室庁裁判所**

②**ヘンリ８世**

**イギリス国教会**の創始（1534．**首長法**）　→　修道院解散（土地・財産没収）

・地方行政…**ジェントリ（郷紳）**を治安判事に任命

・**毛織物マニュファクチュア**…**第１次囲い込み運動**（羊毛生産）の進展

・**トマス＝モア**（**『ユートピア』**）

③エドワード６世…『一般祈祷書』

④メアリ１世（皇太子フェリペ，のちのフェリペ２世との結婚）…カトリックの復活

⑤**エリザベス１世**

・**統一法**（1559）

・**東インド会社**（1600）

・ヴァージニアの植民地化失敗（ウォーター＝ローリー）

**Ｂ.ステュアート朝**〔1603 ～ 49・1660 ～ 1714〕

①**ジェームズ１世**

王権神授説

国教強制　→　**ピルグリム＝ファーザーズ**らの北米移住（1620．メイフラワー号）

②**チャールズ１世**

王権神授説に基づく専制政治

**『権利の請願』**（1628）

→　議会の閉鎖（1629 ～ 40）

国教の強制　→　**スコットランド**（プレスビテリアン）**の反乱**

**ピューリタン革命**（1642 ～ 49）



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

**議会派**と**王党派**の武力衝突

**議会派**（ピューリタン中心）…ロンドン中心

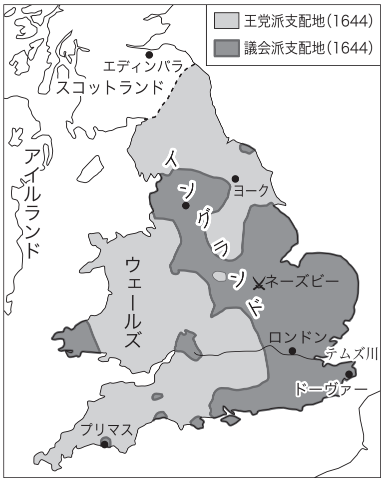
**王党派**（国教徒中心）…ヨーク中心

議会派…**クロムウェル**が鉄騎隊創設…ネーズビーの戦い（1645）で王党派を撃破

議会派の分裂

・**独立派**（穏健共和派）・**長老派**（立憲王政派）・**水平派**（財産権・参政権の平等）・**真正水平派**（原始共産主義）

独立派・水平派が長老派追放・**チャールズ１世の処刑**（1649）




**共和政**〔**コモンウェルス**．1649 ～ 1660〕

**独立派**（**クロムウェル**）による**水平派**の弾圧

**アイルランド**（1649 ～ 52）・スコットランド（1650）の征服

**航海法**（1651．重商主義）制定　→　第１次**英蘭戦争**（1652 ～ 54）に勝利

**クロムウェル**…**護国卿**への就任

**王政復古**〔1660 ～ 1714〕（←ホッブズの社会契約説）

③**チャールズ２世**

カトリック復活

議会の反撃…**審査法**（1673）

**人身保護法**（1679）

④**ジェームズ２世**

王の即位を巡り**トーリ**（賛成派）・**ホイッグ**（反対派）の対立

**名誉革命**（1688）（←ロックの社会契約説）

議会…オラニエ公ウィレム（オランダ総督）を王位に招く

⑤**メアリ２世**・**ウィリアム３世**

議会が定めた『**権利の宣言**』

『**権利の章典**』の発布（1689）…**立憲政治**の確立

イングランド銀行創設（1694）

⑥**アン女王**

**大ブリテン王国**の成立（1707）…スコットランドを併合

**ハノーヴァー朝**〔1714 ～ 1917：ウィンザー朝に改称〕

**ジョージ１世**…独ハノーヴァー選帝侯

**ウォルポール**（ホイッグ党）内閣

**責任内閣制**の確立（1742）…“**国王は君臨すれども統治せず**”



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

# 第７講　テスト

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　①主権国家の形成期に②立憲王政と呼ばれる強力な国王統治体制がうまれ，③国王は商人や金融業者などの有産市民層（④ブルジョワジー）の経済上の独占権を制限した。

2　①オーストリア＝②ハプスブルク家の③カルロス１世は1519年に④カール５世として神聖ローマ皇帝にも選出され，伝統的なキリスト教世界の統一を体現する存在となった。

3　商業の発達したネーデルラントのフランドル地方の10州はスペインの支配下にとどまったが，①南部７州は1579年②ユトレヒト同盟を結んで，③オラニエ公ウィレム（オレンジ公ウィリアム）のもとに抵抗を続け，1581年，④ネーデルラント連邦共和国の独立を宣言した。

4　①スペインは，フェリペ２世時代に②フィリピンを領有し，これを③メキシコと結んで，④マカオを拠点としたアジア貿易を展開した。

5　オランダは1602年に東インド会社を設立してアジアに進出し，①スマトラ島のバタヴィア（現在の②ジャカルタ）を根拠地に，③ポルトガル商人を排除しつつ④香辛料貿易の実権を握った。

6　イギリスは，①アンボイナ事件以後，②インド経営に力を注ぎ，マドラス・ボンベイ・カルカッタを基地として，盛んな通商活動を展開し，３回の対③オランダ戦争を通じて，④18世紀末には世界貿易の覇権を握った。

7　①水平派のオリヴァ＝クロムウェルは，ピューリタンを中心によく統率された②鉄騎隊を編成し，議会派を勝利に導き，その後，議会から③長老派を追放し，1649年には④チャールズ１世を処刑して，共和政を打ち立てた（ピューリタン革命）。



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

８　①アン女王治世中の1707年，イギリス（イングランド）とスコットランドは合同して，②大ブリテン王国となった。アンの死後，遠縁にあたる③フランスのハノーヴァー選帝侯がむかえられ，④ジョージ１世としてハノーヴァー朝を始めた。

解答

１　②→絶対王政　　２　①→スペイン　　３　①→北部

４　④→マニラ　　５　①→ジャワ島　　６　④→ 17 世紀

７　①→独立派　　８　③→ドイツ



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。